

平成 19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	親と子を結ぶ ようこそ赤ちゃんふれあい事業
事業主体 (連絡先)	豊丘村 0265-35-9061 (住民課)
事業区分	保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,384,000 円 (うち支援金: 310,000 円)

事業内容

1) 母乳育児を推進する乳児家庭訪問

保健師が出産2ヶ月以後に家庭訪問し、児の発育を確認するとともに、母乳相談、母の悩み等の相談に応じる事で育児不安が軽減し、母親が精神的に安定した状態で子育てができるようにはたらきかけた。

乳児をとりまく家族が協力して、早寝早起きの生活リズムが確立できるように家族への協力を呼びかけた。



〔妊婦&産婦さん交流会でふれあい育児の学習〕

2) 母乳育児を推進する為の講演会と個別相談会の開催(2/6)

母乳相談所開業の助産師より、母乳の意義や分泌を促す日常生活の工夫や分泌不足の見分け方や人工乳を与える目安や注意についての講演会を実施した。

経験豊かな助産師に、母乳相談以外に妊娠や育児などの様々な質問が出され、出産や育児に関して総合的な良い学習会になった。



〔2/6 母乳育児推進講演会〕

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

3) 授乳や離乳食をとうしての親子のふれあいや食良の推進、育児不安を軽減する為の資料(赤ちゃんファイル)の作成

哺乳量や間隔、離乳食の実施方法等母親からの相談の多い内容を資料化し、育児不安の解消に役立てると共に、父親が育児を理解し、協力を得る為の資料とする。

今後必要により資料を作成し、追加できるようファイル形式とすることで、母親が自分に必要な資料もファイリングし、オリジナルな育児資料を作成することをねらいとした。

4) 妊婦と出産後の母親の交流・学習会

妊娠中から母乳保育を推奨していくプレママ教室の開催と乳児健診へ妊婦の参加希望者が出席できる機会をつくり、先輩ママから出産や育児体験を聞くことにより出産や育児不安への軽減を図った。

又、購入した母乳保育を推奨するビデオ教材を活用し、母乳の利点や具体的なマッサージ法の講習を行い、人工乳の場合も親子のふれあいが大切であることへの理解を得た。

【目標・ねらい】

- 5) 父親参加の親子運動遊び教室の実施 (1/19 1/26)
2歳~5歳までの親子が楽しく遊ぶ親子運動遊び教室を休日に実施し、普段仕事で忙しい父親が育児に関心を持ってもらえる良い機会になった。

- 親子のふれあい促進
- 健やかな子供の成長
- 母親の育児不安の解消
- 親子の食育推進

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

事業効果

- 1) 子育てに不安を抱き、育児不安を抱える若い世代の母親が、家庭訪問や講演会で、地域で開業する経験豊かな助産師や保健師の話聞き、母親が育児に自信と希望を持てるようになった。家庭訪問は対象児49人に対して48人(98%)の実施率であった。
又、相談の窓口を早い時期からPRでき、相談しやすい体制づくりができた。
- 2) 母親から相談を受けることが多い内容を赤ちゃんファイルとして、資料化したことにより、母親にとって、分かりやすい相談や学習会が可能になった。
- 3) 父親の積極的な育児参加を目的とした、親子運動遊びは15組の親子の参加があり、楽しい親子のふれあいの時間となり、参加者に好評であった。親にとっても体を動かし、ストレスの解消につながる良い機会となった。

今後の取り組み

- 1) 作成した赤ちゃんファイルを今後の乳児訪問や乳幼児健診、子育て支援センターが主催する子育て広場に活用し、育児不安を軽減し、親子のふれあいを楽しめるように継続的に支援していく事が可能になった。
- 2) 両親と祖父母間で育児について、共通理解を図れるようにファイルを活用していく。又、必要により新たな資料を作成し、さらに充実した育児ファイルを作成していく。
- 3) 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムは家族の協力が必要であり、特に父親の理解と協力が不可欠である事から、父親が参加しやすい、運動遊び教室などの機会をとおして、家族で協力して子育てすることの大切さをアピールして行きたい。

※ 自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。